

(様式4)

情報公開文書

課題名 : ARDS 患者における腹臥位療法の有無による転帰の比較 —後方視的コホート研究—

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2027年3月31日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2024年1月1日から2026年12月31日の間で当院集中治療室(ICU)に入室し、急性呼吸促迫症候群(ARDS)と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

急性呼吸促迫症候群(ARDS)とは、肺炎や敗血症、大きな怪我などの様々な要因によって、肺に炎症が広がり、十分に酸素を体内に取り込めなくなった状態です。発症された場合には命を脅かすほどの重篤な状態に陥ることがあります。近年の治療ガイドラインにおいて腹臥位療法が推奨されており、当院でも患者さんの状況をみながら実施しておりますが、実臨床ではその導入基準や効果について不明確なことも多いのが実情です。本研究では、過去の診療録を用いて、腹臥位療法を受けた群と受けなかった群を比較し、腹臥位療法の有用性とその影響を後方視的に検討したいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 年齢、性別、BMI、基礎疾患、重症度スコア、腹臥位施行回数、施行時間、人工呼吸器管理期間、人工呼吸器の設定、ICU在室日数、合併症の有無、その後の経過 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センターリハビリテーション技術科 理学療法士 小松洋亮(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中央区富塚町328

電話: 053-453-7111(病院代表)

2026年3月5日作成